

福岡医発第1930号(地)
平成20年 1月28日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 横倉 義武
(公印省略)

中医協緊急総会での意見表明について

平成20年度診療報酬改定につきましては、平成20年1月21日付け福岡医発第1882号(地)にてご連絡申し上げておりましたが、その後1月23日に開催されました中医協総会で、土田中医協会長より、診療側と支払側で意見が割れている5点(①再診料の病診格差の是正、②外来管理加算の時間制限導入、③デジタル映像化処理加算の廃止、④後期高齢者医療に係る再診料の引き下げ、⑤老人外来管理加算の病診格差)について、「あくまでも議論を尽くした上で決めたい。しかし、タイムリミットが迫っているため、隔たりが埋まらない場合は、公益側が一定の方向性を示すことも考えられるが、できるだけ合意形成したいので、次回(25日)公聴会(前橋市)の後、緊急総会を開催して、これらの項目について、両側より改めてポイントを絞って意見表明してほしい。」との提案がなされ、了承されました。

これを受け、日本医師会では、緊急総会の場で、上記5項目について、改めて別紙のとおり診療側としての意見表明を行った旨連絡がありましたので、お知らせいたします。

小郡三井医師会より

担当理事 蒲池 壽



(保187) F

平成20年1月25日

都道府県医師会

社会保険担当理事 殿

日本医師会常任理事

鈴木



中医協緊急総会での意見表明について

平成20年度診療報酬改定につきましては、平成20年1月18日付け（保181）でご連絡申し上げましたとおり、1月18日の中医協総会において、厚生労働大臣から諮問を受け、同時に「平成20年度診療報酬改定に係る検討状況について（現時点の骨子）」が一部両論併記でとりまとめられ、同日からパブリックコメントを募集しているところであります。

その後、1月23日に開催された総会で、土田中医協会長より、診療側と支払側で意見が割れている5点（①再診料の病診格差の是正、②外来管理加算の時間制限導入、③デジタル映像化処理加算の廃止、④後期高齢者医療に係る再診料の引き下げ、⑤老人外来管理加算の病診格差）について、「あくまでも議論を尽くした上で決めたい。しかし、タイムリミットが迫っているため、隔たりが埋まらない場合は、公益側が一定の方向性を示すことも考えられるが、できるだけ合意形成したいので、次回（25日）の公聴会（前橋市）の後、緊急総会を開催して、これらの項目について、両側より改めてポイントを絞って意見表明してほしい。」との提案がなされ、了承されました。

これを受けて、本日、緊急総会の場で、上記5項目について、改めて別紙のとおり診療側としての意見表明を行いましたので、取り急ぎご連絡申し上げます。



再診料等に関する診療側の意見

- 平成20年度診療報酬改定において、軽微な処置の基本診療料への包括化や検査判断料の引き下げについては、診療所を中心に厳しい施策であります。病院勤務医の支援を行うために、同意することといたします。
- また、後発医薬品の処方に係る加算の廃止や、本体プラス改定による財源については、一切診療所への配分を求めることはせず、軽微な処置の廃止等により捻出される財源も合わせて、病院勤務医の対策に充てていただければと思います。
- その一方で、これ以上の財源委譲を行った場合の地域医療への影響や、開業医のモチベーションを考えると、
 - ① 再診料の引下げ
 - ② 外来管理加算の時間制限の導入
 - ③ 後期高齢者医療に係る再診料引下げ
 - ④ 老人外来管理加算の病院・診療所の評価統一
 - ⑤ デジタル映像化処理加算の廃止の5点については、反対であります。